

主役は地域@みんなの想いをカタチにします。

広島市美鈴が丘公民館(広島県)



フラワーボランティア花・花により手入れされた公民館入口



きらきらプロジェクトによるイルミネーション

公民館の沿革・年表

- 昭和62年 美鈴が丘公民館開設
- 平成18年 美鈴が丘公民館指定管理開始
- 平成29年 美鈴が丘公民館改修、エレベーター設置
- 令和2年 「フラワーボランティア花・花」活動20周年の感謝状を(公財)広島市文化財団から授与

左図・写真の説明など

公民館は各種地域団体による「みずきらきらプロジェクト」活動を支援しており、その成果として子どもたちが絵を描き、大人や高校生の協力により手作りしたイルミネーションを、11月末から1月にかけてバス通りに面した公民館敷地に設置・ライトアップした。

明るい街にしたいという製作した人たちの思いが、地域の人たちに伝わり、「元気がもらえる。」「これからも続けてほしい。」などの声が寄せられている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9,466人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和62年5月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財) 広島市文化財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 6,152人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 15,292人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,361人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 21,354人 (<input type="checkbox"/> ビー、図書室等利用10,455人、地域団体等10,899人) 合計 46,159人				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (指定管理料)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (環境講座、美鈴お達者クラブ、アンガーマネジメント講座、防犯講習会、スマホ講座、茶道・和太鼓体験、まごころ弁当作り体験)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (和室が二部屋あること。駐車場が広いこと (28台：うちおもいやり2台))				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> サムエル認定こどもの園、美鈴が丘小・中学校、高等学校及び各PTA、美鈴が丘児童館、まちづくり協議会 (団地内のまちづくり10団体が加入)、広島工業大学、佐伯区役所、美鈴モール商店街など				

広島市美鈴が丘公民館

OPEN 8:30~22:00

H P <http://www.cf.city.hiroshima.jp/misuzugaoka-k/>

TEL (082) 927-1727

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 美鈴が丘団地造成後46年が経過し、高齢化が進展しており、人口もピーク時の約12,000人から現在では9,466人に減少している。(令和6年3月末日現在：人口9,466人、うち65歳以上4,081人・高齢化率43.1%)
- 一方で、年間約100軒程度の家が建て替えられるなど、他の地域から若年層が転居してくる傾向も見受けられる。
- こうした中で、住みやすく元気で明るい団地にするためには、若年層（特に乳幼児から小学生の子どもを子に持つ親）に地域をもっと知って（誇りを持って）もらうとともに、以前から居住している住民との交流を積極的に進めていく必要がある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

若年層の方が地域やまちづくりに関心を持ち、地域との交流を図ってもらう取組に注力している。

- 楽しく防災を考えよう【令和5年5月27日】(令和5年度初開催)
 - ・自主防災会と協議の上、消防署をはじめスーパーや大学の協力を得て、防災への関心を高めってもらうため、若年層親子を対象に、災害に関する学習会を実演や体験を取り入れて開催。**公民館前の商店街（美鈴モール街）にも協力を依頼し、キッチンカーイベントを同時開催し、集客性を高めた。**
- わ・わ・わ広場（小学生の生活・学習支援）【令和5年8月17日～19日】(令和5年度初開催)
 - ・児童が夏休み明けに元気に学校へ登校できるよう、民生委員・児童委員協議会や更生保護女性会と協議の上、美鈴が丘高校生ボランティアの協力を得て、宿題の支援や交流のためのレクリエーションを開催した。
- みすずきらきらプロジェクト【令和5年11月25日～令和6年1月13日】(令和4年度から開催)
 - ・まちづくり協議会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、青少年健全育成連絡協議会、更生保護女性会、PTAなどの協力を得て、バス通りのイルミネーションを前年から1か所増の5か所にするるとともに、新たに公民館中庭に額縁をイメージした「映えスポット」を地元高校生がデザイン・製作したり、ライトアップ期間の延長を行ったりした。また、美鈴モール街にも協力を依頼し、バス通りの4店舗が同時期にイルミネーションを実施してプロジェクトを盛り上げた。
 - ・公民館も12月に「公民館の窓をX'masの絵で飾ろう」「ペットボトルキャップでかわいいリース」「みんなでX'masツリー」「おりがみひろば」を開催し、参加した親子が館内をクリスマスの装飾にするるとともに、コンサートや子ども服のお譲り会を実施し盛り上げた。



楽しく防災を考えよう



わ・わ・わ広場



公民館の窓をX'masの絵で飾ろう

3. 取り組みによる成果や効果

- 楽しく防災を考えよう
 - 小さな子どもを連れた若い父母などが多数参加し、「楽しみながら土砂災害などについて学べた」「消防車に乗って楽しかった」などの声が多く寄せられた。
- わ・わ・わ広場
 - 高校生ボランティアが、当日の子どもたちの状態を見ながら協議し、進行・運営を行った結果、参加した子どもたちは、宿題の見直しを行ったり、生活リズムを取り戻すことができた。また、高校生ボランティアは、子どもたちの交流を図ることができた。参加した小学生から、「楽しかった」「来年もやって」といった声が多く聞かれるなどの満足度が高かった。
- みすずきらきらプロジェクト
 - 初年度に比べ認知度が高くなったことや、内容等が充実したことにより、地域の方から「毎年実施してね」「綺麗」「元気が出る」などの声が多く寄せられた。



イルミネーションをバス通りに設置している様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 各プロジェクトとも、継続して行うことで団地の地域力を高めようとしており、事業終了後にボランティアを含めた関係者で**反省会を実施するなど、各団体と公民館が情報を共有することで、各事業内容の充実・改善に努めている。**
- また、小・中学校、高等学校などと適宜、事業への関わり方などについて協議を行い、子どもたちが主体的に参加できるように取り組んでいる。 ※各事業とも、令和6年度も地域、学校と連携して実施した。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 誰もが気軽に立ち寄れる、笑顔あふれる公民館
挨拶が基本。(おはようございます。こんにちは。こんばんは。)ロビーに佇んでいる人を見たら「何かお探ですか。」「何か御用ですか。」など、こちらから**積極的に声掛けを行う。**
- ボランティアの皆さんのモチベーションの維持・向上
気持ち良く積極的に活動してもらえよう、改善点など話し合いながら事業を行い活動をPRしている。



ボランティアとプール遊び

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域の課題を地域の皆さんと一緒に考えて行動していくため、地域と行政、学校、商店街・企業を繋いだり、**単に公民館だけでなく団地全体の活性化を目指していきたい。**具体的には、ハロウィンの時期に、ジュニアリーダー（子ども会OG）やママス&パパス（元小・中PTA）などと一緒に公民館・美鈴モール街を盛り上げるイベントを企画中。



子ども服のお譲り会